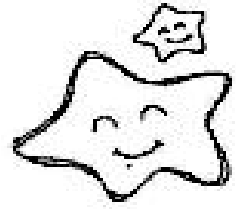


QSK にぬふあぶし

No.251

ね
子の方向の星



沖福連法人研修 in 台湾

【報告者：沖縄市基幹相談支援センター 島 和也】

你好！我想报告一下台湾进修 请多多关照!!

と云う事で、去った11月24日(金)～11月26日(日)の2泊3日の日程で、法人研修 in 台湾に参加してきました。参加者は総勢19名。

各事業所から選りすぐりの個性豊かな面々と那覇国際空港を後にいざ台湾へ。

到着や否や台湾の精神保健福祉

関連法のこれまでの経緯と、現在の取り組み状況を行政の方と、当事者支援団体の方からの説明を受けた後、質疑応答を行いたくさんのエネルギーを頂く事が出来ました。国の違いはあれ精神的障がいを抱えた方々のおかれた現状と歴史には重なる部分も多く、改めて生活者としての権利の回復に向けてアクションを起こし続ける事の必要性も痛感しました。

2日目午前中は、各事業所の活動状況と今後の展望や課題などを発表。それぞれの事業所の「今」を共有し、来年30周年を迎える沖福連のこれまで(過去)とこれから(未来)を、高橋事務局長の話に触発されつつ皆で考える事が出来た貴重な時間になりました。2日目午後からはリフレッシュとエネルギー充填の為、台湾観光へ♪宮崎駿もインスパイアされた(らしい)「九份」や、「十分」での天燈上げ、パワースポットとして有名な龍山寺の参拝など観光要所も組み込まれた、抜かりのない研修日程で、頭も胃袋も心も満たされた三日間でした。



谢谢 台湾！ 我会再来的。

沖福連 台湾研修 2017

【報告者：宜野湾市地域活動支援センターはぴわん 平敷 久美子】

沖福連では、去る11月24日～26日に台湾を訪れ、台北市内の身体障がい者福祉施設において台湾の精神保健福祉の現状を探ることを目的に福祉関係者と交流会をもった。

はじめに、台湾衛生福利部の頼さんより、台湾の精神保健法についての説明がなされた。その中で、これまで、強制入院は医師2名の判断で入院可能であったが、2007年に人権を尊重する視点から医師、コメディカル（看護師、ソーシャルワーカー、心理士等）の判断及び本人の同意を必要とする内容に改正された。また、障がい者権利条約（CRPD）を受けて、強制入院は人身の自由を奪うことから法を司る裁判所で



忠烈祠

衛兵の交代式で有名な忠烈祠の前にて。

最終判断がなされることが決まりこれはアジアでは初めてであると説明があった。

次に、台湾の人権協会の施さんより、本人の同意なく入院させられた事例の報告があった。そこで、マスコミを通じて記者会見を行い、人権協会では社会に対して人権の理解と啓発活動に取り組んでいる。

台湾の課題として、法改正により強制入院の件数が大幅に減ったことにより、入院治療からコミュニティ治療へシフトしていく中、コミュニティに根付いたサポートのしくみや受け皿が整っていない現状があるとのことだった。また、精神障がい



龍山寺

台北最強のパワースポット。皆の願いが叶いますように！

者に対する社会的差別、偏見の解消に取り組むことも課題の1つとして挙げられている。

日本においても、病院から地域へという流れの中で精神障がい者が安心して地域で生活できる資源の確保が求められており共通する課題であると感じた。今回の研修を通して、地域活動支援センターが精神的課題をもった方が地域での生活を支える受け皿としての重要性を再認識し、日々サポートしていきたいと痛感した。



臭豆腐

台湾のソウルフード、どぶのような香りのため、食べたらずきはできません 笑

第13回 こころの芸術・文化フェスティバル

10月25日(水)～29日(日)(28日は台風の為閉館)の4日間に渡り、沖縄県立博物館・美術館で「第13回こころの芸術・文化フェスティバル ～心の叫び一斉展示～」を開催しました。

沖縄県内の地域活動支援センター、精神科病院、クリニックなどから絵画、写真、文芸、手工芸などの10部門に364点の作品応募があり、受賞作品と選定作品の133点を展示し、1,710名の来場者にご覧いただきました。

アンケートには…………

- ・「圧倒されました。ひとりひとり個性があって、作品としてのすごみを感じました。ここにこれだけ良かったです。感謝します」
- ・「毎年とても楽しみにしています。生きる力をもらいます」
- ・「今年もよりすばらしい作品を見学し、とても嬉しく思います。個人の技術、作品の良き発展とても嬉しく拝見致しました。来年は私の作品も飾られるように頑張ります」

などの声が寄せられ、心の病気を持った作者たちの作品が観る人に感動を与え、意欲を駆り立て、癒しの力をも持つことを改めて目の当たりにしました。

残念ながら、台風で1日閉館を余儀なくされましたが、それでも「心の病になった時、どこに相談したら良いのか？」と尋ねられたり、「実は、子どもが通院している」と打ち明ける来場者に出会えたりと、収穫の多い開催となりました。

実行委員会事務局



リカバリー全国フォーラム2017に参加して②

今年8月に東京で開催された「リカバリーフォーラム2017」に参加しました。

今年は、フォーラムの開催とコンボ(地域精神保健福祉機構)の9周年のアニバーサリーの年でもあり、おめでたい雰囲気と今まで歩んできた道のりを振り返るといふ感慨深い雰囲気がありました。僕にとっても10年ぶりにピア仲間の松村さんと東京に旅(研修)に行けた事は感慨深い時となりました。僕が参加した第2分科会「どのようにしたら、ピアスタッフになれるのか?」の内容をシェアしたいと思います。

強く印象に残っているのは、この会の司会進行をしていた竹内政治(たけうちまさはる)氏(さいたま市精神障害者当事者会の事務局長)の冒頭の言葉でした。「どのようにしたらピアスタッフになれるのか?に対する答えは、僕達も持っていません。ピアスタッフとして雇用される事も、雇用された後、どのようにして働いていくのかも様々な形があります。ただ、言えるのは、ピアスタッフとして働くという事は、簡単な事ではない!という事です。ピアスタッフに向いている人と向いていない人もいます。ピアスタッフの中には、心も体もバラバラになってしまう人もいます。」と言って自分の足を指しました(両膝から下が切断されていました)。昨年、線路に飛び込んで自殺未遂をした、と話してくれました。この話を聞いて考えさせられたのは、ピアスタッフとして抱える葛藤が、仕事の向き、不向き、辞職する、しない、調子を崩して働けなくなる等の他に、死を選択する事に思いが至る、という事でした。それほどまでに!というのが正直な感想です。

でも、前向きに捉えると、要は「覚悟」の様な心構えが必要という事なのだと思います。葛藤が出て悩むのは当たり前で、それを前提にして働いていく事が大切で、それができれば大丈夫だと思います。

確かに、最近の「ピアサポート」が一つの流行り、もしくは一時的なブームの様に映る時もあります。それに巻き込まれたり、乗せられたりというのではなく、ゆっくりと、でも確実に「ピアサポート」を精神保健福祉サービスの中に位置づけしていく事に努力していきます。

ひさし

◎編集後記◎

寒さもひとしお身にしみる頃、皆様いかがお過ごしでしょうか。早いもので、今年も残すところあとわずかですね、やり残したことはありませんか?皆様が素敵な年を迎えられますように願っております。(K・O)

編集:公益社団法人沖縄県精神保健福祉会
会長 山田 圭吾

〒901-1104

沖縄県島尻郡南風原町字宮平 206-1

てるしのワークセンター内

電話 098-889-4011 FAX 098-888-5655

E-mail terushino@castle.ocn.ne.jp

発行:九州障害者定期刊行物協会

〒812-0024 福岡市博多区綱場町1-17

福岡パーキングビル4階

電話 092-753-9722 FAX 092-753-9723

定価:10円(会費に含まれる)

ami -あみ- 2017年度 フォローアップ研修会 in 沖縄

ami 設立 20 周年記念全国大会テーマ

～ 軌跡と未来～

心病むことは 命の防衛反応

～ 心病むことで豊かに生きる未来～

2018.01.20.(sat) 宜野湾市社会福祉協議会

正会員・賛助会員/ 500円 当事者・家族・学生/500円 一般/ 1,000円

日時	平成30年 1月 20日 (土)
会場	社会福祉法人 宜野湾市社会福祉協議会 〒901-2205 沖縄県宜野湾市赤道2丁目7番1号 (受付 9:30)
対象	精神障害者支援にかかわる当事者・スタッフ・ご家族、 ボランティア・支援関係者・市民等
主催	NPO法人 全国精神障害者地域生活支援協議会(あみ) 九州・沖縄フォローアップ研修会 実行委員会
お問合せ 事務局	沖縄県宜野湾市地域活動支援センター はぴわん 〒901-2202 沖縄県宜野湾市普天間1-3-5 TEL 098-988-8151 FAX098-943-5545



社会福祉法人 宜野湾市社会福祉協議会
〒901-2205 沖縄県宜野湾市赤道2丁目7番1号

ami 特定非営利活動法人 全国精神障害者地域生活支援協議会



この研修は日本財団の助成金で行なっています。






■研修会テーマ 『心病むことは命の防衛反応 ～ 心病むことで豊かに生きる未来～』

《開催について》

全国精神障害者地域生活支援協議会は、精神障害者が地域で暮らす“生活者”として、また社会を構成する一人としての地域生活を実現することを支援し、その支援活動の充実と社会環境の整備を図ることを目的に各種研修会の開催や機関誌刊行等の活動の中で、会員へ最新の精神保健福祉情報の提供や、各地で取り組まれている地域支援活動を全国に紹介しています。

九州・沖縄フォローアップ研修会は、『心病むことは命の防衛反応 ～ 心病むことで豊かに生きる未来～』をテーマとして、本年度開催した ami 20周年全国大会のテーマ「amiversary ～軌跡と未来」を踏襲しつつ今、私たちが立ち返る視点を確認しながら、利用者と共に一歩ずつ成長できる活動を実践できるコツを共有する機会となれば幸いです。

■当日プログラム

9:30	受 付	
10:00	開 会 挨拶	
10:10	 2017年度 NPO法人全国精神障害者地域生活 支援協議会 「あみ」活動報告 (公社) 沖縄県精神保健福祉会連合会 宜野湾市地域活動支援センター はびわん あみ理事 兼浜克弥	
10:40	 <u>ピアサポートについて</u>	海外におけるピアサポート報告 ～支援活動の課題～ 講師 / (公社) 沖縄県精神保健福祉会連合会 就労継続支援 B 型事業所 ワークプラザユニティー 施設長 比嘉寿
12:00	(昼 食)	
13:00	 <u>沖縄の実践報告について</u>	自然の力を大事にする活動を通して見えてきたもの 講師 / (同) ソルフアコミュニティ 就労継続支援 A 型事業所 TEAM VILLAGE(グレイブ) 代表社員 玉城卓
13:50	(休 憩)	
14:00	 <u>神奈川の実践報告について</u>	訪問支援活動の これまでとこれから 講師 / (一社) てとてリンクよこはま訪問看護ステーション 管理責任者 増子徳幸
15:30	(休 憩)	
15:40	 <u>パネルディスカッション</u> 「心を病んでその命を保つことを大切に 大切にする社会のあり方」	座 長 / NPO法人 あおば福祉会 あみ常任理事 田中直樹 パネリスト / (同) ソルフア コミュニティ 就労継続支援 A 型事業所 TEAM VILLAGE(グレイブ) 代表社員 玉城卓 パネリスト / NPO法人 エスペランサ理事長 グループホーム 住吉 山口弘美 パネリスト / グループホーム てとて 管理者 村上大作 パネリスト / 宜野湾市地域活動支援センター はびわん 施設長 兼浜克弥
16:55	閉 会 挨拶	
17:00	終 了	アンケートへのご記入をよろしくお願ひします。次回への参考のために、回収いたします。

2018年1月20日(土) あみ九州・沖縄フォローアップ研修会 参加申込書

※お申し込みは、下記研修会事務局まで、郵送またはFAXで2018年1月10日(水)までお願いいたします。

お名前	ご所属	区 分
ご連絡先	都 道 府 県 電話番号 ()	<input type="checkbox"/> 会員・賛助会員 (500円) <input type="checkbox"/> 当事者・家族・学生 (500円) <input type="checkbox"/> 一 般 (1,000円)

懇親会のご案内

↓どちらかに○をお付け下さい

日時：1月20日(土) 19:00～

場所：Rooftop Grill & Bar KAIMANA 那覇市松尾2-8-19 ドン・キホーテビル7F

参加費：3,500円 定員：150名先着順

懇親会に

参加する ・ 参加しない

※お一人につき1枚の参加申込書をご使用ください。

※参加費(会員・賛助会員 500円 当事者・家族・学生 500円 一般 1,000円)は当日受付にてお支払いください。

※ごみは各自でお持ち帰りください。

■お問合せ・お申し込み先

あみ九州・沖縄フォローアップ研修会事務局

〒901-2202

沖縄県宜野湾市地域活動支援センター

沖縄県宜野湾市普天間1-3-5

はびわん

TEL 098-988-8151

FAX 098-943-5545